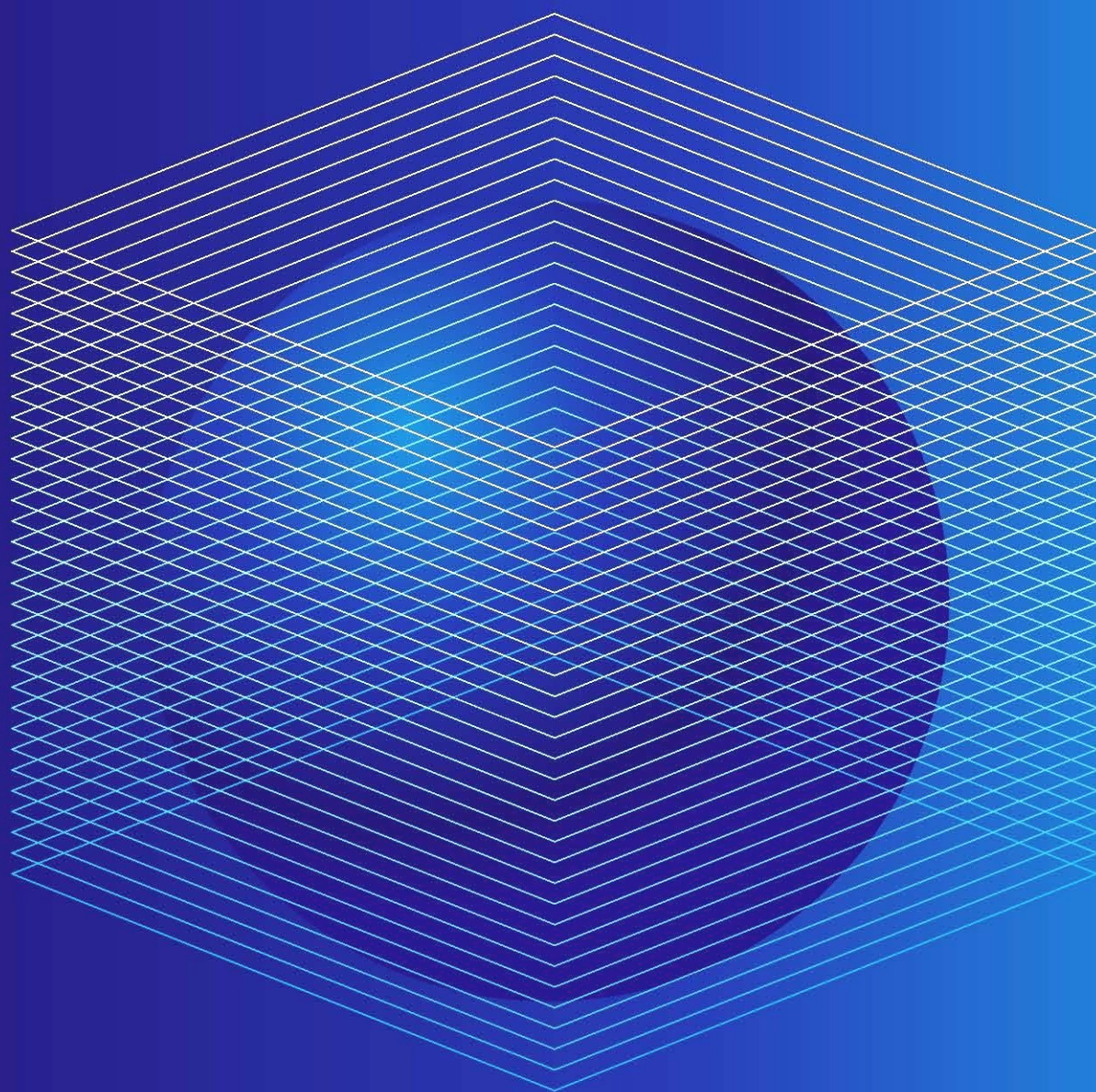


 地理統計データベース

# GEOSTAT<sup>®</sup>

データをわかりやすく地図上に表現します



地理統計情報株式会社



# 地理統計データベース GEOSTAT®

## 第2版のリリースについて

発売以来3年の年月が経ち、地図と統計に特化し、かんたん操作、高機能を目指したGEOSTATも、インターフェイスがいつしか時代遅れとなりました。この間、ご愛用いただく方々が増加する中で、操作をもっとわかりやすくするというお叱りの声など、ご迷惑をおかけすることも多くなりました。

GEOSTATは生まれ替わりました。高機能、高性能を内に秘め、専門用語や知識を必要とする機能、誤解のおそれがある機能、誤操作の危険がある機能をユーザーインターフェイスから削除し、操作の明瞭さを第一としました。今回削除しました機能\*につきましては、GEOSTATが今後、皆様に育てていただく中で、復活するものがあることを願っています。

※コマンドモードで使用できます。

### Ver1.03版からの主な改良点

- ユーザーインターフェイスの全面改良により、操作がわかりやすくなりました。
- ライン、ポリゴンの構成点が65535点を超える巨大図形、サイズが2GBを超えるシェーブファイルに対応しました。
- 背景図に、標高(50mメッシュ)と年月日指定の行政界(都道府県、市区町村界)を追加しました。

## GEOSTAT® の特長

地図表示枠、図形枠、テキスト枠、地図記号など、充実した「レイアウト印刷機能」。地図上に写真、見取り図、イラスト等を簡単に貼り付けられ、デザイン力にすぐれています。A0、A1プリントやPDF出力など、大量のデータを必要とする大画面の微細な地図を鮮明に出力します。

かんたん  
操作

すぐれた  
表現力

充実した  
背景  
データ

地図の重ね合わせ、表示地域の設定、表示位置の記録など、「地図表示に特化した高機能GIS」を搭載、素早く必要な地図を表示します。従来は大型機でしか行えなかった大量データ(1000万件超)のソート、マージ、抽出を行う強力な「加工編集機能」を搭載、データの編集が思うままに行えます。

「標高50mメッシュによる陰影図」、「行政界(都道府県境界、市区町村境界)」、「20万分の1地勢図」、「1/25000の地形図」など地図表現に必要な背景データを標準装備、購入後すぐに、データを地図上にわかりやすく表示できます。





# 機能

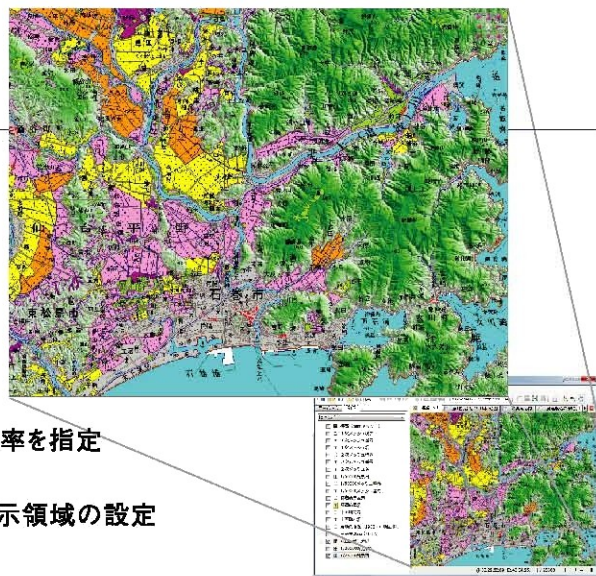
洗練されたユーザビリティにより  
様々なニーズに対応した機能を実現

Function

## 地図表示

地図（マップ）は、背景図が標準でセットされていますので、主題図を読み込むだけでわかりやすく表示できます。マップは何枚でも作成することができ、それぞれのレイヤーボックスにチェックを入れるだけで描画できます。

- 地図の連動……表示中の地図について、表示位置、縮尺等を連動することができます
- データとの連動……データリストと地図を相互に参照、表示
- 段彩表示……レイヤーごとにカラー、パターン、境界線、透過率を指定
- レイヤー……重ね合わせ順の変更、レイヤー数の制限なし
- その他……表示位置、凡例、レイアウトの保存と指定、表示領域の設定



## レイアウト印刷

プレゼンテーション資料の作成は、仮想の用紙上に地図アイテムを張り付けることにより編集、完成。印刷はA0、A1など大判からA4、ハガキサイズまで、パワーポイント、エクセルなどのソフトへはPDF形式で出力できます。

- 地図アイテム……マップ、凡例、テキスト、表、イメージ、方位記号  
縮尺記号、矩形

### 対応出力形式

印刷

データ

大判の  
A0まで対応



A0～ハガキサイズまで

PDF

## インポート・エクスポート

他のGISソフトとはシェープファイル形式で、Excelやアクセスなどの表計算ソフトやデータベースソフトとはCSV形式で、データの交換、相互利用ができます。

シェープ形式

世界測地系、日本測地系  
(経緯度、日本公共座標、UTM座標)

CSV形式

数値、文字データのほか  
座標点の入出力も行えます。

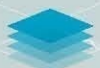
## データ処理機能

GEOSTATは統計作成支援システムとして誕生、各種調査データから、分析視点に応じた統計を作成するツールとして育ってきました。このため、強力な検索、分類、集計、加工編集機能を備えています。



【条件検索】AND、OR、NOT 以上、以下、以外、未満、大きい、小さい／【その他検索】単一化、重複検索、同値検索、(高速フィルタによる検索)／【並び替え】昇順、降順、回転、解除／【分類作成】分布範囲均等、件数均等(分位)、数量均等、分割数は任意／【ファイル結合】縦結合(項目名結合)、横結合(データの値による結合)／【分類集計】分類数制限なし(クロス集計)、合計、平均、最大、最小／【四則演算】+ - × ÷ 剰余 累乗(連結)／【統計】合計、平均、累計、割合、比重、最大、最小、番号、順位／【算術関数】int log ln sin cos tan atn exp 10x sqr abs sgn rad deg





## レイヤー機能

きめ細かなレイヤーコントロール  
GEOSTATでより快適に

### 思い通りの情報を ダイレクトに反映させる 優れたレイヤー機能

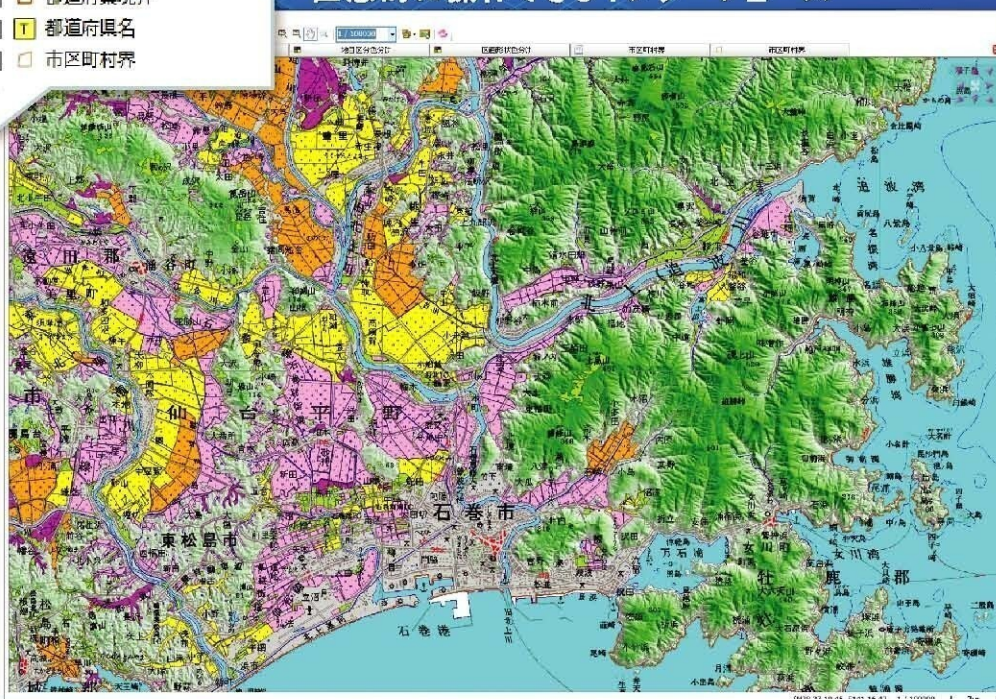
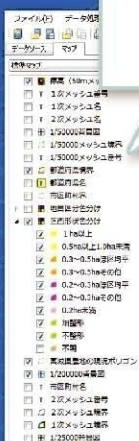
レイヤーは「層」を意味する言葉で、透明なフィルムに描いた地図の意味です。

地図は個別に1枚のレイヤーにします。各レイヤーは透過率を設定できますので、重ねることによって多くの情報を1枚の地図に投影、表現することができます。

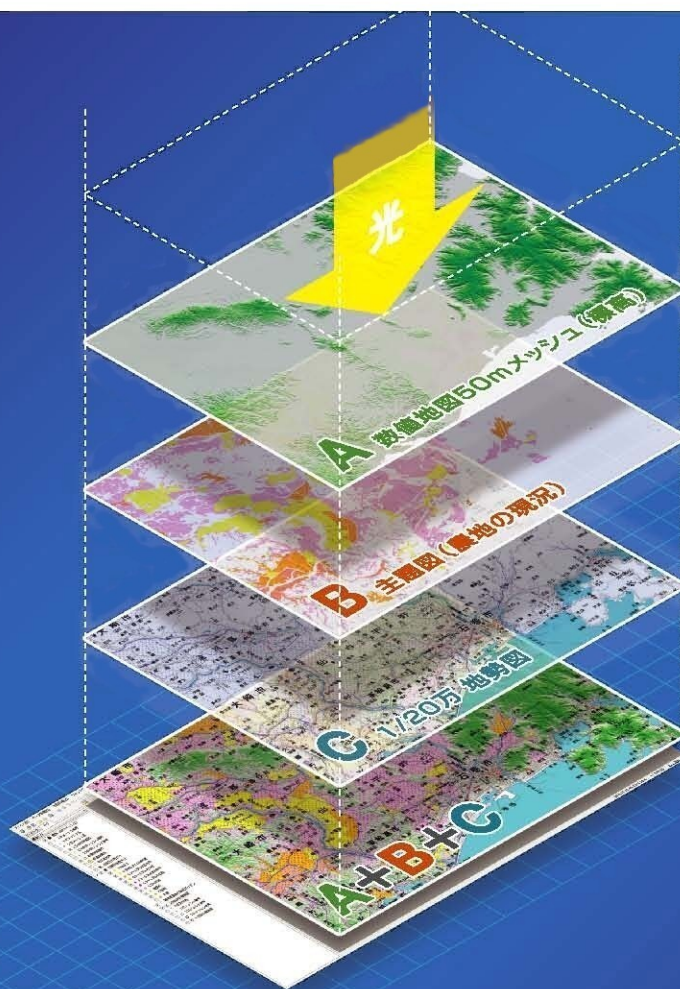
GEOSTATは、標準背景図（標高50mメッシュ、1次メッシュ、2次メッシュ、1/20万背景図、1/25000背景図、都道府県境界、市区町村界）をあらかじめ読み込んでいますので、必要な背景図にチェックを入れるだけで表示することができます。

#### 表示したいレイヤーに チェックを入れるだけの 簡単操作

- ☐ 1/50000メッシュ境界
- ☐ T 1/50000メッシュ番号
- ☒ 都道府県境界
- ☐ T 都道府県名
- ☐ 市区町村界



### 直感的に操作できるインターフェース





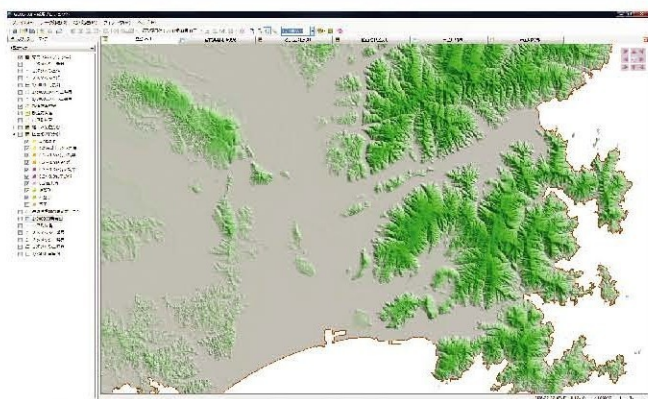
## 背景図

標準搭載

地図表現に必要な背景図を豊富に収録  
購入後すぐにご使用いただけます

## 標高50mメッシュ

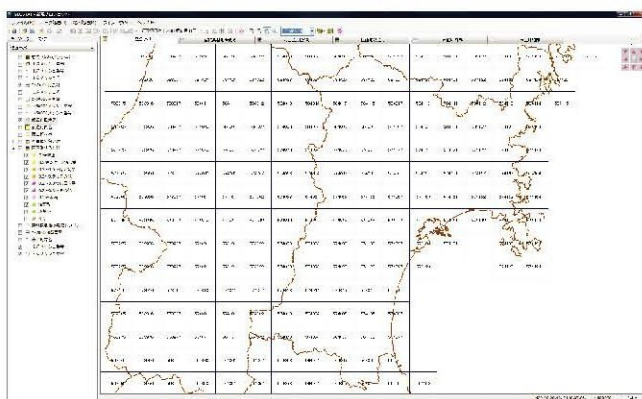
数値地図50mメッシュ(標高)



2次メッシュ(1/25000地形図の区画)を経度方向及び緯度方向に200等分して得られる格子(約50m四方)の中心点の標高値をm単位で記録しています。この標高値に、カラースケールや影の付け方を設定することにより、目的に応じた表現力豊かな背景地図を作図できます。

## 1次メッシュ・2次メッシュ

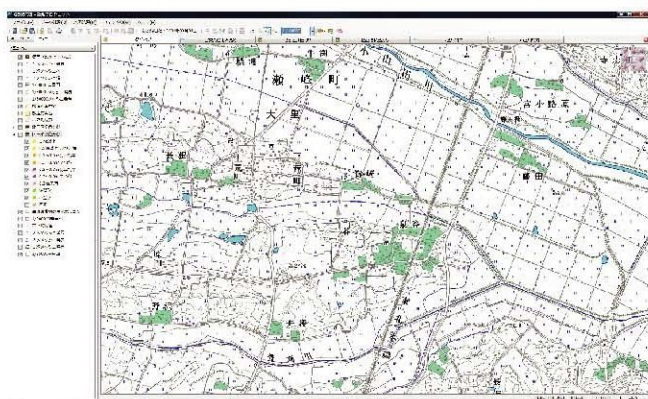
統計に用いる標準地域メッシュおよび標準地域メッシュ・コード



1次メッシュは、20万分の1地勢図の1図葉の区画を1単位区画としたもので、緯度差は40分、経度差は1度、1辺の長さは約80kmです。2次メッシュは、第1次メッシュを緯線方向及び経線方向に8等分してできる区域で1辺の長さは約10kmです。

## 1/20万地勢図・1/25000地形図

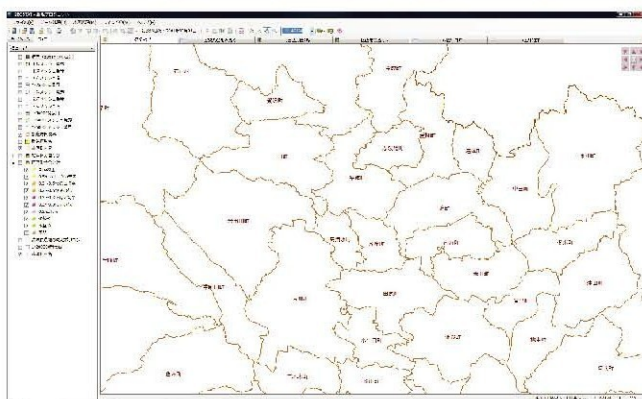
数値地図(地図画像)



20万分の1地勢図は、全国を130面でカバーし、地図の1面の平均的面積は約6400km<sup>2</sup>です。県レベルの調査、計画などに手ごろな大きさです。1/25000地形図は、全国を網羅するもっとも詳細な地図で、土地の高低や起伏、水系、植生、土地利用、集落、道路、鉄道、各種構造物が表示されています。

## 年月日指定の行政区

都道府県境界・市区町村界



昭和43年(1968年)から最近までの都道府県、市区町村境界を収録したデータベースです。この間の年月日をカレンダーを用いたわかりやすいインターフェイスで指定することにより、その時点の行政区(都道府県、市区町村境界)を素早く表示することができます。





# 専用データ

オプション

Option data

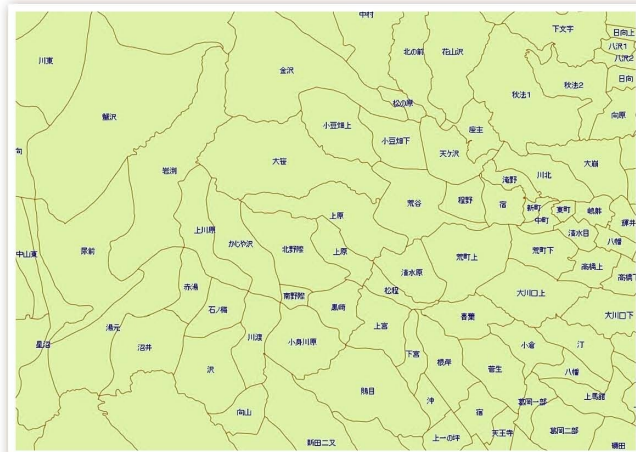
地図を備えたデータを豊富に収録  
購入後スムーズにご使用いただけます

## 農林業センサス

### 農業集落カード・一覧表

農林業センサスは、農林水産省統計部が実施している農家についての悉皆調査です。農業集落カードは、農家調査（5年ごとに実施）及び農業集落調査（10年ごとに実施）から、農業集落の概況を把握するために取りまとめられた調査結果です。2005年の集落カードには、集落の再編等がなく接続可能な集落について、1970年から2005年の5年ごと8年次のデータが収録されています。一覧表は、農林業センサスの最も詳しい集計結果で、GEOSTATで提供可能な集計表は、都道府県、市町村、旧市町村、農業集落です。

OPTION

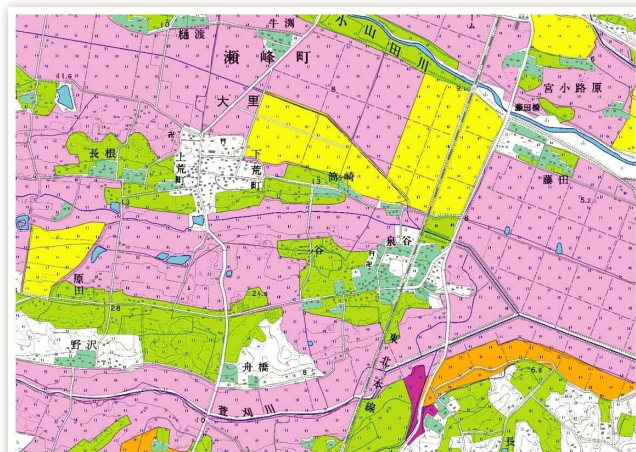


## 農地の現況

### 土地利用基盤整備基本調査

土地利用基盤整備基本調査は、全国の農地を対象として農林水産省農村振興局（旧構造改善局）が、都道府県、市町村の協力を得て土地利用と基盤整備の状況を一齐に調査した悉皆調査です。1976年に行われた第1次調査は、市町村単位の調査ですが、第2次（1983年）と第3次（1993年）はメッシュ単位の調査、第4次（2001年）では農地属性（おおむね圃区程度の広がり）を単位として詳しく調査されています。

OPTION

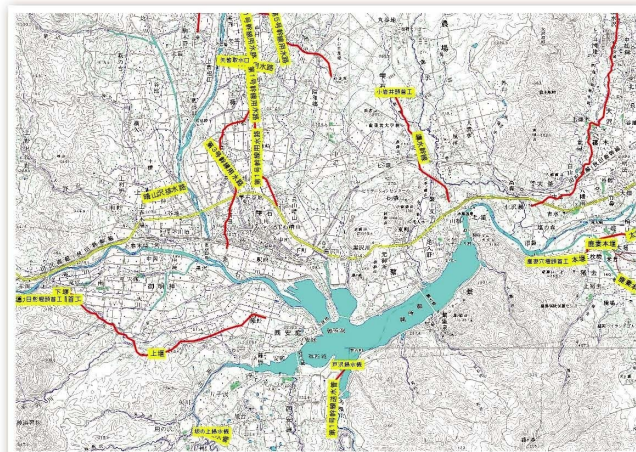


## 水利施設

### 基幹水利施設整備状況調査

基幹水利施設整備状況調査は、農業水利施設（農業用排水施設、農地防災ダム、特定多目的ダム法による多目的ダム、水資源開発公団法による水資源開発施設及び河川管理施設であって、農業側の負担が伴うもの）のうち基幹的なもの（受益面積がおおむね100ha以上のもの）について、農林水産省農村振興局（旧構造改善局）が整備状況、管理状況、及び受益の状況を調査した調査結果です。

OPTION





## 仕 様

### ハードウェア

|          |                                  |
|----------|----------------------------------|
| OS       | Windows7 / Vista / XP (SP2 以降)   |
| CPU      | Pentium / Celeron 2GHz相当以上を推奨    |
| メモリ      | 1GB (2GB以上を推奨)                   |
| ハードディスク  | 30GB (50GB以上の空き容量を推奨)            |
| モニタ(解像度) | 1024 × 768 以上 (1280 × 1024以上を推奨) |

### ソフトウェア

|                |                                                                                                                                                                                                                         |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| .NET Framework | .NET Framework 2.0以上                                                                                                                                                                                                    |
| 使用ライブラリー       | 統計処理ランタイムライブラリ FDSys (地理統計情報株式会社)<br>GISエンジン gSolution (サイエンスソリューションズ株式会社)                                                                                                                                              |
| 付属データ          | 背景図については、「国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000 (地図画像)、数値地図50000 (地図画像)、数値地図25000 (地図画像)、数値地図25000 (行政界・海岸線) 及び数値地図25000 (地名・公共施設) を複製したものである。(承認番号 平18総復、第387号) また、また、陰影図については、数値地図50mメッシュ (標高) を使用したものである (承認番号 平20業使、第346号)。」 |

.NET Frameworkは、Microsoft社の製品です。.NET Framework以外の使用ライブラリー、付属データについては地理統計情報株式会社が頒布権及び再使用許諾権を有しています。

また、付属データのご利用につきましては、国土地理院から次の条件が付されています。

(付属地図使用承諾条件)

1. 付属データを用いて、発表やプレゼンテーション資料を作成される場合には、出典の明記が必要です。
2. 出版物やパンフレット等を作成され、一般に配布される場合には、国土地理院への相談または申請が必要です。

## GEOSTATについて

- 大量データ(1000万件以上)を高速かつ高精度に処理できます。
- 検索・分類・集計は簡単操作で、結果は直ちに地図に表示できます。
- 地勢図、地形図、行政界などよく使用する背景図を標準で装備
- 地図表示は、日本全国をシームレスに表示できます。
- 表計算ソフト、他のGIS(地理情報システム)等とデータ交換が容易です。
- 独自の分析用データ、地域別データ等をかたんに取り込むことができます。
- データを組み合わせる新しい指標項目の作成が簡単にできます。





## 地理統計情報株式会社

〒344-0061 埼玉県春日部市粕壁1-6-1205  
TEL.048-761-5558/FAX.048-788-9650  
URL <http://www.tiritoukei.co.jp>  
Email [mail@tiritoukei.co.jp](mailto:mail@tiritoukei.co.jp)

販売代理店

# GEOSTAT<sup>®</sup>

**Microsoft**  
CERTIFIED  
Partner

地理統計情報株式会社は、ISV(独立系ソフトウェア会社)として  
マイクロソフトパートナープログラムに参加しています。

GEOSTATは、地理統計情報株式会社の登録商標です。  
本印刷物に掲載する社名または製品名は各社の商標または登録商標です。  
本カタログに掲載された仕様及びデザインは、予告なしに変更する場合があります。